

表

山折り2

マルモッタン・モネ美術館所蔵 Musée Marmottan Monet

モネ展

ジュニアガイド

「印象、日の出」から「睡蓮」まで

2015
9.19 sat
|
12.13 sun



東京都美術館 (東京・上野公園) 中学生以下無料 9/19-9/30は高校生無料 観覧日(学生証の提示が必要)
開館時間: 9:30-17:30 (金曜日、10月31日~11月2日は20:00まで)
ただし、(印象、日の出)展示期間(9月19日~10月16日)の金曜日、土曜日、並びに9月20日~22日、10月11日は21:00まで入館は90分前まで
休室日: 月曜日、10月13日(火)、11月24日(火)ただし、9月21日(月)、10月12日(月)、11月23日(月)は開室
主催: 東京都美術館(公益財団法人東京都歴史文化財団)、マルモッタン・モネ美術館、日本テレビ放送網、読売新聞社、BSテレ
特別協賛: 大塚建設 文化庁 本展は政府による美術品保護制度の適用を受けています

お問い合わせ
03-5777-8600
(ハローダイヤル)

見る ↔ 描く もっとよく見てみよう!

この展覧会では作品を見ながらお絵かきができる「とひらぼーど」を観覧会場の入口で中学生以下の方に貸出ししています。じっくりよく見て描くと新しい発見があるかもしれません。会場中にはボードを使ったワークショップも計画中! 詳細はウェブサイトでお知らせします。

美術館の展示室でのルールを守ってね!

- 1. 展示室では静かに。 3. 作品にさわらないでね。
- 2. メモを取るときはエンピツで。 4. 騒ぐときは静かになで。

裏

谷折り2

モネ展

Musée Marmottan Monet

マルモッタン・モネ美術館とは?

1934年、今から81年前にオープンしたフランスのパリにある美術館。もともとポール・マルモッタンさんの家だった建物を使った美術館です。モネが亡くなったときまでもっていたたくさんの作品は息子ミ

シエルが受け継ぎ、1866年、ミシエルの死後にマルモッタン美術館に入りました。このときから、マルモッタン美術館は画家モネの名前を加えて、マルモッタン・モネ美術館に名前をかえました。



展示されているのは、モネがずっと大切にしていた作品。どんな作品があるかな?



友人ルノワールからのプレゼント

この絵は33歳ごろのモネ。パイプが出るけむり、モネのひげなど、友だちのルノワールがどうモネを描いたのかよく見て下さい。筆の跡が見えますね。

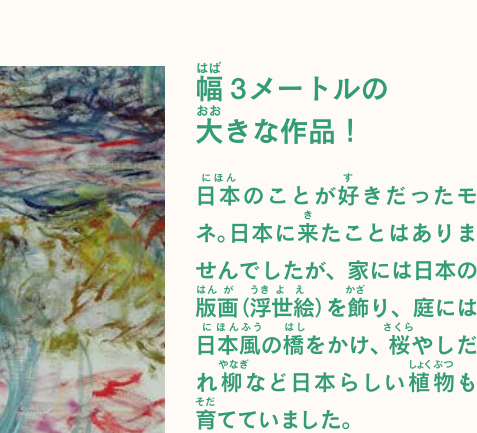
ルノワールもモネと同じ印象派を代表する画家。二人は、今でいえば同年代で、3か月だけルノワールの方が年下でした。彼らの友情はルノワールが亡くなるまで60年近く続きます。



家族の肖像画

この絵は色められていない所もあります。なぜでしょう?

モネが描いた2歳半ごろの次男ミシエル。丁寧に描くほど、だいたんに描くことで、どんどん成長する子供の姿を自分が感じるまま、生き生きと表現したのです。



クロード・モネ (複製) 1891/1898

お気に入りの庭を描いた絵

モネが自分で作ったお気に入りの庭には睡蓮の咲く池がありました。

モネは分かっているだけで200点以上の睡蓮の絵を描いています。睡蓮の浮かぶ水面に映るまわりの木々や、空の緑子をじっと観察してたくさん時間を費やしました。



クロード・モネ (複製) 1891/1898

幅3メートルの大きな作品!

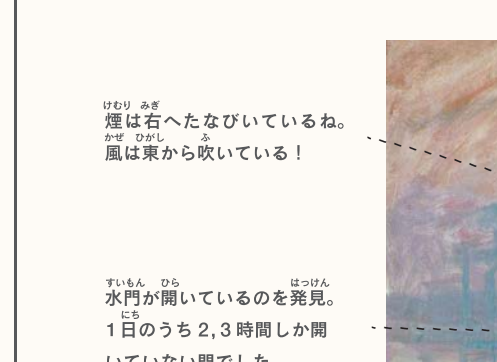
日本のことが好きだったモネ。日本に来たことはありませんでしたが、家には日本の版画(浮世絵)を飾り、庭には日本風の橋を日本らしい種物も育てていました。

モネはいつ、どこで、何を描いたのか?

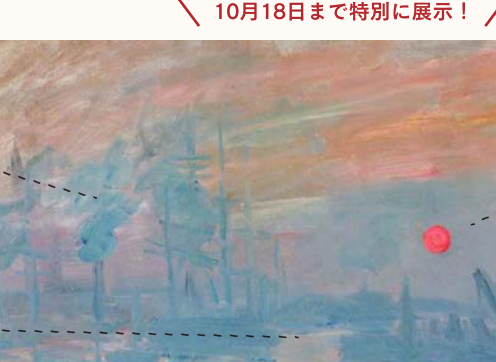
「印象派」という名前が生まれたモネの代表作のひとつ《印象、日の出》。この作品があったから、ミシエルは、父モネのコレクションをマルモッタン美術館に譲ると言われています。この作品、なんと描かれた時間まで調査されています! 手がかりは、モネが少しだけ残した

この時代の地図や写真、天気や羅針盤のデータなど。2014年におこなわれた最新の調査では、モネはこの作品を1872年11月13日7時35分頃に描いた可能性がもっとも高いことが分かりました。この研究を少しだけ紹介します。

10月18日まで特別に展示!



クロード・モネ (複製) 1872



クロード・モネ (複製) 1891/1898

サイン「Claude Monet 72 (クロード・モネ72)」。それでも、1872年にモネがこの絵に行くと伝説がながったため、長い間1873年に描かれたと言われてきました。

描かれているのは、モネが5歳ごろから18歳まで過ごした町ル・アヴルにある港。モネはおそらくアマロテ・ホテルの部屋から初めて描いた地元の風景。どんな思いを込めて描いたのでしょうか。

この絵上に3人のぼるのぼるは、11月18日と11月19日の2回だけ。クレーンが描かれている! 大きな船を渡るように工事がおこなわれた場所だと分かりました。

印象派とは? モネやルノワールなどの「印象派」と呼ばれた画家たちは、1870年頃からフランスのパリに登場します。パリの人々の日常生活など新しいテーマを描こうとし、技法としてはパレットの上であまり絵の具を混ぜず、筆の跡が残る新しい描き方をしました。元々注目し、よく海外で売られたのも特徴のひとつです。

クロード・モネとは? (1840-1926年)

1840年、モネはフランスのパリに生まれ、5歳の頃に港町ル・アヴルに一家で引っ越します。

学校でもずっと...! モネは、カリカチュア(漫画)が好きで、授業中もずっとノートに描いていたそうです。すぐに教師の評判になりました。



クロード・モネ (複製) フランス・ニコライ、複製(フランス) 1876年

運命の出会い しかし、もつと色を使って、風景を描いた方がよい、という画家ウジェーズ・ブーダンのアドバイスを受け、モネは議論の真で絵を描くようになりました。

10月20日から特別に展示!



クロード・モネ (複製) 1876年

パリでの活躍 パリでは、たくさんのお客にめぐまれ、一緒に作品を制作したり、賞金を贈ったりしました。モネは「印象派」の画家と呼ばれ、新しい絵画の表現を探りつつつけていきます。



クロード・モネ (複製) 1866年

新しい生き生きとした作品が売れ、生活が楽ができること、モネは絵を描くためにいるような土地へ家を出ました。川沿いや海など、モネのお気に入りの水と光のある場所でした。



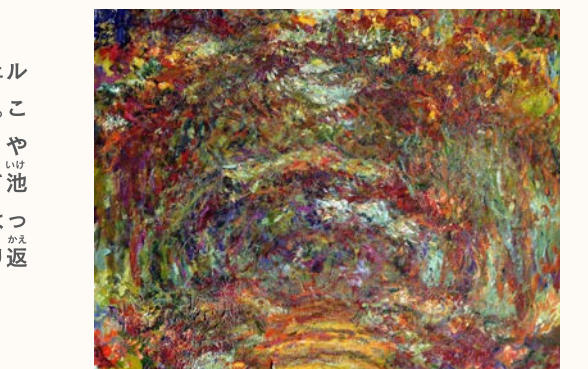
クロード・モネ (複製) 1866年

ジヴェルニーへ 1883年、42歳のモネはジヴェルニーという村へ移り住みます。ここでも気に入ったモネは、やがて近くの川から水を引いて池もつづります。時間や天気によって変化する水面を、モネはくり返し描きました。



クロード・モネ (複製)

1912年、72歳になるモネは白内障という目の病気にかかります。この眼病は、目の手術の他に、色の見え方を調整するためにモネが使っていたものです。



クロード・モネ (複製) 1900-1906年

それでも、モネは絵を描きつづります。絵があるエネルギッシュな絵を見ると、80歳を過ぎてもおかしくないモネの情熱が伝わりますね。モネは1926年、今から89年前に86歳でなくなりました。

谷折り1